記者発表資料

令和 8 年 10 月 7 日
（一財）3.11 伝承ロード推進機構

「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興の歩み」パネル展の開催について

テーマ：「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から 15 年が経過しました。東日本大震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等をパネルにより紹介するパネル展を開催します。

また、被災地の被災前、被災直後、復興 10 年の状況について写真パネルにより紹介します。

※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

また、「3.11 伝承ロード」の取組は、令和 6 年度、ＮＩＰＰＯＮ防災資産の「優良認定」に選定されました。

■パネル展等の内容

1）パネル展

・教訓伝承の取組

・東日本大震災の対応など（協力：東北地方整備局）

・被災前・被災直後・復興 10 年の航空写真（宮古市田老、陸前高田市、石巻市北上川河口、いわき市等）（協力：（一社）東北地域づくり協会）

■会場　　青森市文化観光交流施設ねぶたの家ワ・ラッセ
〒030－0803　青森県青森市安方 1-1-1

■期間　　令和 8 年 10 月 14 日（水）~令和 8 年 10 月 22 日（木）

■時間　　9:00 - 18:00
（10 月 14 日は 14:00 から。10 月 22 日は 13:00 まで）

■主催　　（一財）3.11 伝承ロード推進機構

■協力　　東北地方整備局・（一社）東北地域づくり協会

■その他　　感染拡大防止対策については、十分なご配慮とご協力をお願いします。

《発表記者会　青森県政記者会、東北建設専門紙記者会》

問 合 せ 先
一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 2－26 事業部長　遠藤　明　　ＴＥＬ022-393-4261

展示パネルの例


教訓が、
いのちを
救う。
備えることで救える“いのち”が
あることを知ってもらう！
学ぶことで助かる“いのち”が
あることを知ってもらう！
一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構


我々が伝えたい
基本メッセージ
備えることで救える
“いのち”が
あったという事実
2度の津波被害を受けて整備された巨大堤防
（高さ10m、長さ2,600m）が
町民の死亡率を大幅に激減させた田老村
明治三陸地震（明治29年）
345戸が一軒残らず流され、
人口2,248人のうち
死者・行方不明者は1,867人
死亡率
83%
三陸沖地震（昭和8年）
559戸中500戸が流失、
人口2,773人のうち
死者・行方不明者は911人
死亡率
33%
東日本大震災（平成23年）
1,467棟中、全壊は979棟
人口4,302人のうち
死者・行方不明者は166人
死亡率
4%
一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構


40.1
メートル
観測史上最大
の津波。
地震が走った後、北海道・東北・関東地方の太平洋沿岸を巨大な津
波が襲いました。14時49分には岩手・宮城・福島に大津波警報が
発令。一時は、本州日本海側を除く日本全国の沿岸でも大津波警報な
どが発令。
地震から2日後の13日17時58分の津波注意報解除までの長時
間、津波に対する警戒は続きました。
遡上した津波は陸上にその痕跡を残し、岩手県大船渡市綾里湾で
は40.1mを観測しました。
これは明治三陸津波の際に観測されたこれまで最も高い38.2m
を上回るものでした。
【大津波警報、警報、注意報の分布】
岩手県宮古市（旧田老町）
最大浸水高
18.3m
最大遡上高
40.1m
防潮堤
浸水高
遡上高


岩手県 宮古市田老 被災前・被災後・10年後
Iwate Prefecture Taro, Miyako City Before, Soon After, and Ten Years After the Tsunami
被災前
2010年3月撮影 Before the 3.11 Disaster March 2010
被災後
2011年3月撮影 Soon After the 3.11 Disaster March 2011
10年後
2020年10月28日撮影 Ten Years After the 3.11 Disaster October 28, 2020